

議長定例記者会見 会見録

日時：令和7年4月11日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 冒頭発言

2 質疑項目

○県議会議員のSNS投稿について

○米国の関税措置について

○大阪・関西万博について

○知事の出馬表明について

○議長・副議長の任期について

○議案の訂正について

1 冒頭発言

（議長）皆さんおはようございます。ただ今から4月の議長定例記者会見を始めさせていただきます。新年度を迎えまして、初めての議長定例記者会見となります。昨年度は、皆さま方には県議会の活動等にかかる報道について、大変お世話になりました。本年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。本日は、発表事項はありませんが、2月定例会議を終えての感想などについて、少し申し上げたいと思います。2月定例会議では、やはり令和7年度の当初予算が最も重要な案件の一つであったと思います。「困難を抱える子どもへの支援」や「子どもの希望を育む」取り組み、また、「産業の成長支援」や「観光・プロモーションの推進」、さらには「人口減少」および「人材確保」の対策、そして「防災・暮らしの安全安心」等のため、限られた財源が効率的・効果的に配分されているかなどといった観点から、本会議や委員会等において慎重かつ詳細に審査し、3月21日に可決をいたしました。この審査の過程では、「ヤングケアラーへの着実な支援」をはじめ、さまざまな意見を申し上げておりますので、県当局におかれましては、これらを踏まえ、しっかりと執行していただきたいと思います。また、「エネルギー・食料品等の物価高騰支援」や「自然災害による孤立集落対策」などに対応するための令和6年度補正予算もございました。これについては、緊急を要することから先議をすることとし、迅速かつ慎重な審査のうえ、2月27日に可決をしたところです。このほか、「三重県子ども条例」をはじめとするさまざまな議案についても、本会議や委員会等において活発な議論や慎重な審査を行い、今後の取り組みの方向性や進め方について意見や要望を申し上げるなど、議会としての役割をしっかりと果たせたものと考えております。2月定例会議については以上ですが、先月末に8年ぶりに開催しました、「第9回全国自治体議会改革推進シンポジウム」につきましましては、全国から自治体議員や経済団体、一般の方など多くの方にご参加をいただきまして、交流・連携を深めることができ

ました。改めてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。私からは以上です。

2 質疑項目

○県議会議員のSNS投稿について

（記者）幹事社です。各社冒頭発言に関して何かご質問等ありますでしょうか。では全体でお尋ねします。まず幹事社からお尋ねします。吉田紋華議員に対する殺害予告のメールが、相次いで県議会事務局等に届いたという案件がありましたけれども、これ、きっかけはSNSでの同県議の発言がきっかけと思うんですけども、まず、このこと自体に対して、議長として何か思うところやお考え等がありましたらお願いします。

（議長）3月25日に吉田議員が、X、旧ツイッターで津市役所に生理用品がなかったが設置して欲しいという旨を投稿されたということで、その投稿に対しさまざまな反応があり、大量のメールが議会事務局に、先ほどご指摘いただいたように、寄せられたということは承知をしております。まず生理用品の設置云々に関しましては、これはさまざまな意見があると承知していますので、議長の私がいろいろと発言する、意見を述べるのは差し控えたいと思っておりますけれども、私たち議員は公人でありますので、SNSによる意見の表明は、その影響力なんかもやっぱり考慮して、注意して利用していく必要があるなということと思っています。しかしながら、自由な意見の表明の場は非常に大事ですので、脅しとか、今回なんかはそういったことであったと思いますけれども、によって自由な意見の表明が、たとえ公人だったとしても制限されることは許されることではありませぬので、既に三重県警の捜査に全面に協力するよう、事務局に指示をしたところでございます。ということで、こういった対応というのは、脅しとか、そういうので発言を制するようなことは許しがたいことだと思っています。

○米国の関税措置について

（記者）ありがとうございます。別件で、もしあれば結構なんですけれども、アメリカのトランプ大統領が、一時、自動車以外に24%の追加関税上乗せ措置を一時表明されましたけれども、県への影響も甚大なものが今後予想されると思うんですけども、県議会として何か、議提条例とか、何か対応する必要性というのは、何か考えておられるのでしょうか。

（議長）昨日も、知事の方で、県執行部で、そういった対策会議が開かれたと聞いていまして、県内産業への影響は非常に大きいだろうということで、そういった会議が持たれたと聞いています。知事からもしっかり対応していくこととい

うことが示されたと聞いてますので、その対応もしっかり見守りたいと思っていますし、議会としても、米国の動向とか、県の対応などそういったものを注視しながら、例えば補正予算をどうするんだとか、そういった議論になってくるかも分かりませんし、いろいろな動きがある可能性がありますので、しっかりそういったことに対して適切に対応していきたいと思います。

（記者）分かりました。ありがとうございます。幹事社からは以上です。各社さんお願いします。

○大阪・関西万博について

（記者）大阪万博がこの13日の日曜日から開幕しますけれども、三重県もそこに関西パビリオンの一スペースを借りて出展しているわけですがけれども、議会としてこの機運を盛り上げていくとか、そういったお考えだったりとか、そのあたりはいかがでしょうか。

（議長）当然、議会としてもそうですし、三重県として盛り上げていく必要があると思っています。関西のパビリオンの中に三重県のブースもということですので、しっかりそこを、多くの全国の方あるいは世界から来ていただくので、そういった方に見ていただけるような取り組みというのは求めていると思っていますし、三重県のMIEフェスティバルというのも9月22日に開催されるということも聞いていますので、三重県のお祭り大集合ということでやられると聞いてますし、そういった三重県関係の取り組みも、万博の会場の中でいろいろ企画いただけるということですので、当然議会としても、しっかりそれを発信できるような取り組みをしていきたいなと思っています。

（記者）ありがとうございます。ちなみに議会として、視察に行かれたりとか、そういった何かイベントとかというのは、今のところ議会の中であったりするのでしょうか。

（議長）明日、私行くんですけれども、私は行くんですが、議会としてという企画が、まだこれからスタートですので、まだあるわけではありません。ただ、当然ながら議会でも、視察に行く、もしくは何らかその発信する、こういったイベントに議会が関わるということもあり得ると思いますので、結構長期間にわたって万博が開かれますから、その中でしっかり議会も関わっていく必要があると思いますし、当然視察等があれば、行くべきだと思っていますので、そういった議論をしていただければなと思います。

（記者）ありがとうございます。

○県議会議員のSNS投稿について

（記者）吉田県議の関係で追加で質問なんですけど、吉田県議と直接、議長はこれまでお話等って、この案件でされたことってあるんですか。

（議長）吉田県議からは、直接この内容についてというよりも、3月25日でしたかね（正しくは3月31日）、記者会見を開かれる前に正副議長のところへ、こういうことがあって記者会見を開かせていただきますということで、直接本人から申し出がありました。

（記者）議会事務局として、被害届を出すとかってのはそこまで今のところ検討されてないんですかね。

（議長）実際にその告訴を議会事務局として行うかどうかということは、当然今後の状況を見ながら検討していきたいと思っています。

（記者）分かりました。

○知事の出馬表明について

（記者）冒頭でも言及がありました定例会議の件ですけれども、締めくくりには知事から再選出馬表明がございました。ご感想や受け止めがあればお尋ねしたいんですが。議長として話しにくい立場ではあると思いつつ、お尋ねしますが、いかがですか。

（議長）4年間、知事として取り組んでこられた中で、まだまだやっぱりやるべきことがあるということをお話をいただいて、しっかり取り組んでいきたいという表明だったのかなと思っています。そういった、率直にそういうふうに感じさせていただきました。

（記者）副議長はいかがですか。

（副議長）議長同様です。

○議長・副議長の任期について

（記者）今回4月の定例記者会見ということで、来月も予定されておりますですかね。

（議長）そうですね。来月あります。

（記者）ただ５月には例年通り役選があると思われます。議長と副議長にもご確認、改めてさせていただきたいんですけれども、ご自身として任期、いつまで続けられる予定か、改めて確認させていただきます。

（議長）私、就任のときに申し上げましたように、１年しっかり務めさせていただきますということで、お話をさせていただきましたので、残り１ヶ月、精一杯務めていきたいと思っています。

（副議長）同じく議長同様であります。

（記者）就任期間中の振り返りとかですね、いわゆる最後の記者会見というのは、その５月の定例記者会見が最後になるという認識でよろしかったですか。

（議長）そうですね。もう１回ありますので、次の５月のときには、やはり１年務めてきたこともちょっと振り返りながら、皆さんにお話もできたらなと思っています。

（記者）そんな中で、言及はしにくいかもしれませんが、議長任期、副議長任期について、お二人とも今回１年ということでしたけれども、ずばり今後、何年がふさわしいというふうに、つまり毎年毎年１年で辞職して代わるるっていうのがあるべきことなのか、もう少し先を見据えて長期的に担われるべきなのか、今回いろんな経緯で１年ということになられたんだと思いますけど。これ、どのように捉えていらっしゃるでしょうか。

（議長）どちらがいいというのはないのかなと思ってしまして、その時々によって状況は当然違いますので、例えば２年が絶対いいとか、４年がいいとか１年がいいとかというものではないかなと思っていますので、その時々、役選の議会の中で議員の皆さんが、我々も含むですね、協議をして決めていくということが一番いいのかなと思っています。

○議案の訂正について

（記者）定例会ではですね、提出された条例に誤りがありまして、その後訂正の議案が提出されたという経緯になりました。罰則と過料というところで、この表記が違っていたということですから、これ率直にどのように受け止められてですね、またその後、とにかく議長としてどのように対応されたかということがあれば、お尋ねしたいんですが。

（議長）今回、議案第４９号が訂正ということで、３月１９日の議会運営委員会において、議運の委員長からも執行部に注意がありました。私も同様に思っておりますけれども、昨年度に続いての議案訂正ということでありますので、やっぱりこれは非常に遺憾に思うところでございます。今後このようなことが生じないように再発防止に努めていただきたいということは私からお願いしましたし、そのように思っておるところです。

（記者）再発防止に努めてもらいたいとお願いされた先は、担当部局ということになりますか。

（議長）そうですね。

（記者）ありがとうございました。

（議長）どうもありがとうございました。

（ 以 上 ） １０時４４分 終了